

# 障がいのある若者を I T 高度人材へ 「ニューロダイバーシティ人材育成」に挑戦

## 株式会社トイ



ニューロダイバーシティ人材(非定型発達者)の育成  
プログラミング・ロボット、AI・システム開発



東京大学大学院工学系研究科メタバース工学部  
講座修了証(AI・LLM修了率約20%の難関講座)



当事者が企画・開発したディスレクシア(読字障がい)対応の文章自動なぞりアプリ「J-motion」



全盲の文化人類学 広瀬浩二郎氏を迎えて開催したインクルーシブ教育活動(八戸盲学校)

### 事業概要

所在地：東京都目黒区青葉台4-2-19・5F

従業員数：8名(うち、障害者1名) 特例子会社：非該当

業務概要：プログラミング・ロボット開発、AI・システム開発、教育教材開発、スマート農林水産業事業、学びのまちづくり事業、文化芸術・コンテンツ事業、防災・減災強化事業 等

私たちは、障がいのある人を「支援の対象」としてではなく、ニューロダイバーシティ(神経多様性)人材として捉え、その特性を活かし、AI・IT・プログラミングロボット開発などの高度な専門業務で活躍できる人材の育成を目指しています。

#### 《大学と連携した学び環境の提供(リスキリング)》

大学との産学連携による学びと実践的なリスキリングを通じて、都市においては学びの場づくり、地方においては学びのまちづくりを進め、都市と地方の両方で高度専門人材を育成できる新しい人材育成モデルの構築に取り組んでいます。

- ・東京大学大学院工学系研究科メタバース工学部が主催する講座の受講(終了率約20%前後の難関講座であるAI講座・LLM講座を当事者と障がいのあるアルバイト学生の2名が修了)
- ・立命館大学との産学連携(色彩工学等の共同研究)
- ・八戸工業大学との産学連携(社会人入学：3年目で学年1位、オールSを獲得)
- ・その他産学連携による研究・開発活動、その他各大学・研究機関との教育連携・共同研究

#### 《当事者が開発したディスレクシア(読字障がい)対応アプリ》

当社では、障がいのある社員本人の関心や経験を起点に、新しい事業や製品を生み出す「仕事づくり」を行っています。その一例が、ディスレクシア(読字障がい)の人のための支援アプリケーション「書き順アプリ J-motion」です。日本語フォントメーカー最大手のモリサワとの連携により、当事者の経験をもとにした製品開発を進めています。

#### 《インクルーシブ社会実現への取り組み(学びの場づくり・学びのまちづくり)》

障がいのあるなしに関わらず、すべての人が互いの尊厳を大切にし、支え合いながら学び続けるインクルーシブ社会の実現を目指しています。

都市においては学びの場づくり、地方においては学びのまちづくりに取り組み、社員が主体となり社会貢献団体(一社)TOCOLを設立し、子どもの頃からのインクルーシブ教育やワークショップなどの教育活動を行っています。

#### 《生活の支援》

当社では、大学の学生支援部門や専門機関の知見を参考にしながら、学生生活や社会生活に悩みや困難を感じている人への支援の考え方や支援体制を学び、社内の支援体制の構築に活かしています。

大学の学生支援部門では、専門のコーディネーター、臨床心理士、精神保健福祉士等が関与する個別支援体制が整備されており、これらの知見を社内の業務指導や雇用管理に反映し、安心して能力を発揮できる環境づくりを進めています。